



令和7年度も引き続き、令和5年度に実施した中学生アンケートや佐賀市部活動地域展開会議での検討結果を踏まえて焦点化した、3つの方向性の具体化に向けて取り組んでいきます。

《方向性 1》 学校部活動としての活動量・活動内容の見直し

《方向性 2》 地域型クラブの立ち上げ・運営に関する支援

《方向性 3》 多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化



3つの方向性を
まとめたちらし



広報資料
(ちらし・動画)

01 令和6年度 第2回佐賀市部活動地域展開会議を開催しました！

■日時：令和7年3月19日（水）9:30～11:30

■内容：

・令和6年度の取組（①・②）について報告（事務局・地域クラブ活動運営団体より）

①佐賀モデル（学校部活動適正化モデル）、②地域クラブ活動型モデル

・今後の進め方について説明→協議（以下に意見を一部抜粋）

（注）「佐賀モデル」先行実施5校のアンケート結果、地域クラブ活動型モデルのアンケート結果は裏面（抜粋）



会議配布資料
会議録等

①佐賀モデルについて

- ◆R7全校試行に向け、地域人材やアスリートによる支援も必要（校長会）
- ◆練習会等に指導者の派遣可能（民間クラブ）
- ◆活動量に関する情報を少年スポーツ・高校と共有を（中体連）
- ◆大学生、小学校の教員を含め、指導者確保を模索（吹奏楽連盟）

②地域受け皿拡充について

- ◆地域クラブの大会参加要件の議論は進行中（中体連）
- ◆スポーツ少年団も地域クラブの運営・指導を担っていく必要（スポーツ少年団）
- ◆ニュースポーツ講座や体験型イベントの参加対象を中学生まで拡充（市スポーツ協会）
- ◆校舎セキュリティが課題（吹奏楽連盟）
- ◆保護者・関係団体への周知を（PTA）

アドバイザーより

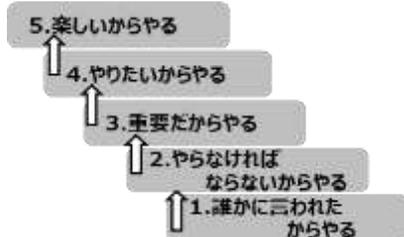
◆プロスポーツやクオリティの高い指導者（SSPメンター等）と連携していることに価値。

◆これからの教育自体が「主体性」「内発性」を大切にするという方向性。だからこそ佐賀モデルはチャンス。

◆国が地域「移行」から「展開」に名称を変更したコンセプトを理解すること。学校内で運営されてきた活動を地域全体で支え、新たな価値を創出していくということ。

◆部活動を、地域にスライド移行するのではなく、アップデート移行していく。さらに新たなコンテンツが加わっていくのが地域展開の理想。

自己決定能力の5段階 （主体性の高まり）

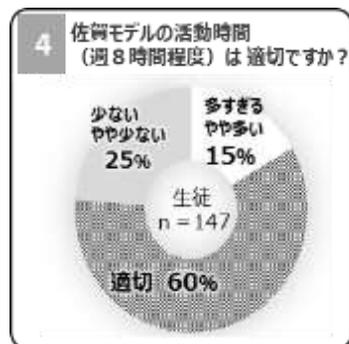
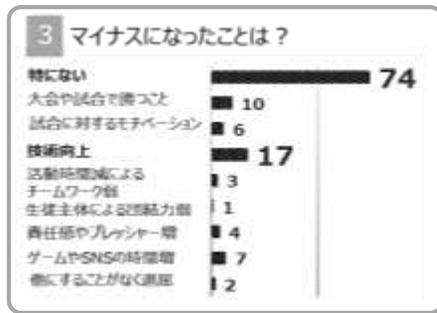
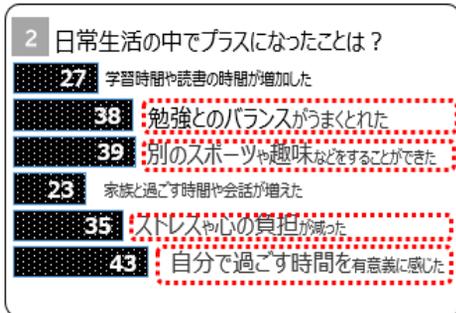
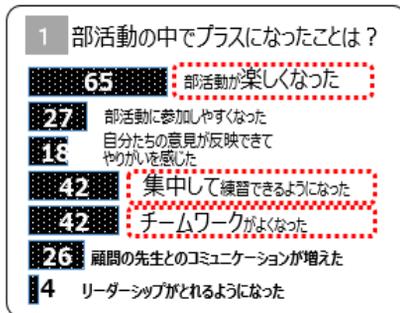


アドバイザー提出資料より

02 「佐賀モデル」のアンケート結果

「佐賀モデル」(部活動適正化モデル) 先行実施5校への事後アンケート結果を一部紹介します。
(紙面の都合上、詳細なアンケート結果、分析報告については下記のQRコードからご覧ください。)

(注) 先行実施5校の生徒147名による複数回答の結果



■主な成果

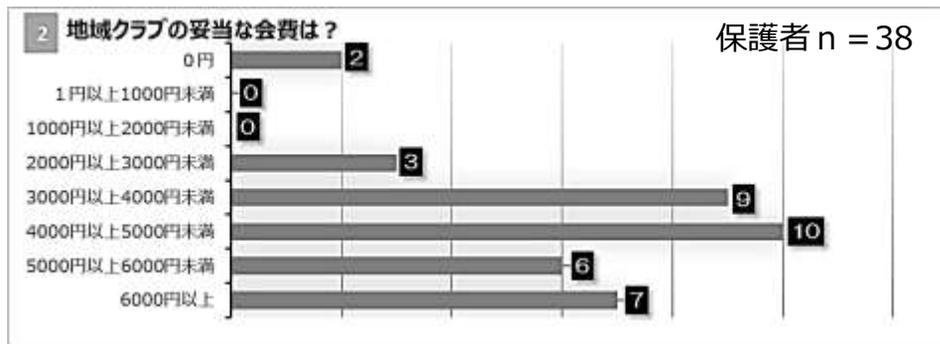
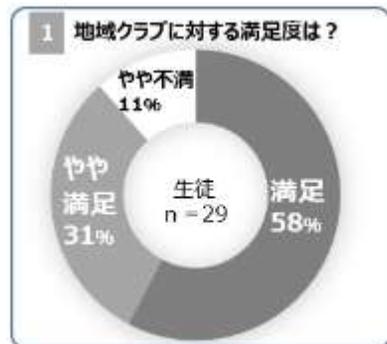
- ・「楽しくなった」、「ストレスや心の負担が減った」、「勉強とのバランスが取れた」等、部活動だけでなく日常生活にもプラスの効果。
- ・生徒も顧問も適切な生活リズムにつながる。
- ・生徒自身が考え、工夫する力に。

■主な課題

- ・志向の混在への対応(活動時間に対する考え)
- ・顧問がファシリテートするための情報提供・研修機会を。
- ・大会やリーグ戦などの精選の必要。

03 「地域クラブ活動型モデル」のアンケート結果

地域クラブ活動に取り組んでいただいた2団体への事後アンケート結果を一部紹介します。
(2団体ともに、詳細な分析をされた報告書を作成されています。以下のQRコードからご覧ください。)



04 令和7年度の主な取組

令和6年度の成果と課題をもとに、下記のことに取り組みます。

- ①「佐賀モデル」を市立中学校全18校で試行(拡充)
(開始時期は、学校の実情に応じて)
- ②地域スポーツクラブ活動体制モデル事業(継続・拡充)
- ③部活動及び地域クラブ活動基本方針の整備 等



成章中学校で4/14に生徒向け、4/25に保護者向けの説明をしました。



アンケート結果一覧



佐賀モデル報告



諸富BBC報告



スポーツ・フォアオール報告

【発行・お問い合わせ】
佐賀市教育委員会 教育総務課

電話：0952-40-7352

E-mail：kyoiku@city.saga.lg.jp